

(様式2)

資料No. 3

戸塚区連合町内会自治会連絡会4月定例会
議 題 説 明 書

戸塚保護司会

議題名：「更生保護とつか第30号」の配布について

【内容】

「更生保護とつか第30号」を発行しましたので、お知らせします。
戸塚保護司会では、機関誌「更生保護とつか」を年1回発刊しており、更生保護活動の啓発に努め、その活動内容を記載していますので、ぜひご覧ください。

【例年あげている議題か？】

例年お願いしているものです。(昨年も4月区連会でお願いしました。)

【何をすればいいのか？】【いつから(いつまでに)すればいいのか？】

各自治会町内会1部ずつ、配布しますので、ご承知おきください。

【その他、注意することなど】

問合せ先

担当部署 戸塚保護司会広報部会

担当者名 部会長 金子 重晴

TEL. 090-3220-6841

「社会を明るくする運動」吉泉区長



戸塚保護司会 第30号



戸塚保護司会70周年をお祝いして
 戸塚区社会福祉協議会事務局長 伊藤 学

このたび戸塚保護司会が発足70周年を迎えられるのことに、お慶びを申し上げます。

平成11年に区役所より区社協に事務局が移管され、会の運営に関わらせていただくようになりましした。現在は会員の皆様によって会が運営され、私たちはほんの一部をお手伝いする立場となり、社会を明るくする運動の取り組みや地区社協活動へのご協力など、様々な場面で一緒にさせていただき、そのお力を頂戴しております。いつもありがとうございます。

日々対象者を温かく見守り、その気持ちに寄

り添いながら、社会生活を送れるよう支える保護司の方々のご尽力は、誰もが良く知るものとはなりにくいですが、とても尊い働きであり、これまでと同様、いやむしろ現在こそその大切さが増しているのではないかと感じます。

これからも皆様のご活躍により、戸塚区が安全で安心な街であり続けますよう、そして、戸塚保護司会がますます発展されますようお願いいたします。

あなたも保護司になりませんか
 戸塚保護司会

人はみな、生かされて生きてゆく。
 更生保護シンボルマーク



「戸塚区更生保護の七十年」記念誌



第69回 社会を明るくする運動



今年の「社会を明るくする運動」は、令和元年7月12日(金)9時30分に担当役員が、戸塚駅上部連絡通路広場へ配布物等を搬送し、10時30分からの活動の準備を行いました。

各関係機関の代表者にご挨拶をいただき、佐藤保護司会会長の激励により戸塚駅周辺にて、保護司会15名、戸塚区更生保護女性会15名、戸塚区社会福祉協議会の有賀会長他4名、戸塚区役所4名で啓発活動を実施しました。



午後からは会場を東戸塚駅に移動して、吉泉区長にご挨拶をいただき、保護司会13名、更生女15名、社協5名、区役所3名で活動を行いました。

保護司活動を終えて
 長沼 紘治

平成5年8月に保護司を拝命して25年と7ヶ月が過ぎました。在任中は、対象者と向き合い更生に微力ながら貢献が出来たことと感謝しています。

横浜保護観察所の観察官の方々、そして戸塚保護司会の皆様にお世話になり保護司活動が無事に終えられた事を厚くお礼申し上げます。戸塚保護司会の今後の御活躍、保護司の皆様御健勝を祈願し退職の挨拶と致します。ありがとうございます。



「保護司就任にあたっての思い」
 吉原 寛

ある時、現職保護司の方から保護司へのお誘いを受けました。保護司？耳にした事は度々ありましたが、当時の私は実際の活動内容について全く無知で、返答を持ち帰りました。ただ、正直お断りするつもりでした。ただその後、自分なりに活動内容を調べるにつれ、この社会において大変重要な役割を果たしており、またこのような方々を知らずに守られて生きていた自分に気が付きました。

さらにお声がけくださった保護司がなぜ、私にという気持ちも同時にわいてきました。

次第に自分の住んでいる社会に恩返ししたいという気持ちへと変わっていったのを覚えています。4月に委嘱を受け、多くの書籍や、諸先輩方のお話など聞く機会が増え、内容に押し潰されそうな事も多々ありますが、自分を見失わず社会貢献できるような、知識、経験を保護司を通じ増やせていけたらと思います。

「保護司就任にあたり」
 小糸 敏浩

保護司の職について、もちろん以前から知っていましたが、自分からは遠い存在であり、特段の関心も持っておらずにいました。

そんな折、住まいのある地域の諸活動の中でお世話になっております戸塚保護司会の佐藤会長よりお声がけをいただき、自らの仕事などとうまく折り合いをつけていけるのか不安を感じながらも、会長の熱意に押され皆様のお仲間に入れていただくことと決めました。10月1日の新任保護司研修会の冒頭、法務大臣からの委嘱状を手にし、身が引き締まる思いしております。

早々に自らが担当する案件も出来、一抹の不安を抱えつつも保護司としての活動を始めております。

今後、先輩保護司の皆様にはご迷惑をおかけする事も多からうと存じますが、ご指導の程、よろしくお願ひ申し上げます。



保護司募集 戸塚保護司会

戸塚保護司会では、一緒に活動して下さる方を募集しています。興味を持たれた方は、会長(佐藤 ☎045-811-0324)までご一報お願いします。

発行所: 戸塚保護司会 / 発行人: 会長 佐藤研一
 事務局: 戸塚区社会福祉協議会
 〒244-0003 戸塚区戸塚町167-25
 電話: 045-866-8434
 FAX: 045-862-5890

第67回 横浜市更生保護大会

令和元年9月18日(水)午後1時から、横浜市開港記念会館に於いて開催されました。

大会宣言(案)を披露の後、満場一致にて採択されました。

清興は、三遊亭若圓歌師匠の風刺の効いた話で会場の雰囲気は盛り上がりました。



第70回 神奈川県更生保護大会

神奈川県民ホール(大ホール)にて、令和元年11月21日(木)午後1時から開催されました。開会后、清興(帆船日本丸を愛する男声合唱団)が始まり、素晴らしい合唱に感動しました。

式典には、10月7日(月)更生保護制度施行70周年記念全国大会(於、東京国際フォーラム)にて、天皇・皇后両陛下に賜りました御言葉を、県大会においても再度ご披露がございました。記憶



に残る素晴らしい大会でありました。表彰を受けられました皆様におかれましては、誠におめでとうございませう。

59回 戸塚区 更生保護バザー

戸塚区更生保護女性会 吉田勝江
バザー搬入の日は、大雨だったのが、8月31日(土)当日は良い天気にもぐまれ、開店の時間を待つ人で入口には長い列が出来ていました。会長の「時間で済みますので、入口のドアを開けます」の一声で、待ちに待った人が、どっと会場に入りました。

最近では、バザーの品物が少なくなっているのですが、よくこれだけたくさん品物が集まったと、感謝しております。これも皆様の心からのご支援だと思えます。

又、手作りの手芸品が目にとまりました。皆様方からの御祝い、又、例年川上地区より多大なる御寄付をいただきありがとうございます。皆様方の善意を無駄にしない



ように青少年の健全育成のため、また更生保護施設への訪問活動などに役立たせていただきます。これからも会員一同、明るい社会にできるよう努力していこうと思っております。ご来場いただいた方とスタッフ一同心がひとつになり、お互い感謝の一日で終わったのではないのでしょうか。ありがとうございました。

令和元年度 《受賞おめでとうございませう》

瑞宝双光章	伊藤彰哲	瑞宝双光章	伊藤彰哲
藍綬褒章	水沼早苗	藍綬褒章	水沼早苗
法務大臣表彰	吉原繁男・石渡誠一・馬場義實	法務大臣表彰	吉原繁男・石渡誠一・馬場義實
全国保護司連盟理事長表彰	金子重晴・石田久乃・渡邊勝	全国保護司連盟理事長表彰	金子重晴・石田久乃・渡邊勝
関東地方更生保護委員会委員長表彰	川邊正太郎	関東地方更生保護委員会委員長表彰	川邊正太郎
関東地方保護司連盟会長表彰	相澤辰信・笹野信治	関東地方保護司連盟会長表彰	相澤辰信・笹野信治
横浜保護観察所長表彰	鈴木恵子・細嶋周治・西尾宗哲・正岡孝司	横浜保護観察所長表彰	鈴木恵子・細嶋周治・西尾宗哲・正岡孝司
神奈川県保護司連合会長表彰	石井正樹・矢部寛和	神奈川県保護司連合会長表彰	石井正樹・矢部寛和
関東地方更生保護女性連盟会長表彰	石井敏子	関東地方更生保護女性連盟会長表彰	石井敏子
横浜保護観察所長感謝状	早川禎子	横浜保護観察所長感謝状	早川禎子
神奈川県更生保護女性連盟会長表彰	益田ミサ子・高橋恵美子	神奈川県更生保護女性連盟会長表彰	益田ミサ子・高橋恵美子

横浜市長感謝状 (保護司)	渡邊勝	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	渡邊勝
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	長塚正子・宰田博子	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	長塚正子・宰田博子
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	鈴木浄元	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	鈴木浄元
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	吉田勝江	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	吉田勝江
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	石田久乃・石井詔生・山澤敦浩・水沼早苗	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	石田久乃・石井詔生・山澤敦浩・水沼早苗
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	石渡省子・田中靖子・内藤洋子	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	石渡省子・田中靖子・内藤洋子
横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	曾根よしみ・高山節子	横浜市長感謝状 (更生保護女性会)	曾根よしみ・高山節子

施設研修「八街少年院」

研修部 吉原寛

9月9日に千葉県にあります八街少年院施設研修を保護司と更生保護女性会合わせて30名にて予定しておりました。当日は神奈川県を含む首都圏および千葉県に上陸した記録的な強さの台風15号の影響により未明から暴風雨が続き、出発予定時間も遅らせました。研修場所である八街少年院におきましては台風による被害が出たとの連絡があり、出発集合場所に参加者が集まる中ではありましたが、やむなく中止の決定をいたしました。



八街少年院は昭和24年に創設され、平成8年に全面的に新築工事が竣工されました。その他の少年院と比べて比較的きれいな施設で、種別としては初等少年院、中等少年院で、収容区分は長期処遇とのこと。

私自身、なにもわからない状況から保護司になって初めての見学研修であったので、多くの不安と体験したことのない場所に対しての興味があったのですが、今回このような結果で研修できず大変残念でしたが、改めて施設の役割と重要性について考える機会をいただきました。この気持ちを持ちつつ次回の施設研修に是非参加したいと思

中学生徒指導専任教諭との連絡協議会

門倉章治

令和元年11月22日戸塚法人会館にて、保護司、専任教諭を始め、スクールソーシャルワーカー、戸塚区社会福祉協議会の方、戸塚区更生保護女性会の方々の参加をいただき「保護司と中学生徒指導専任教諭との連絡協議会」が開催されました。

佐藤会長ご挨拶の後、名瀬中学校鈴木校長先生から、今の中学生の約10%の生徒が何らかの発達障害を持っているとお話をいただきました。続いてスクールソーシャルワーカー長島様より発達障害への支援についてお話をいただきました。

発達障害にも様々な障害があり、第1グループMR(知的障害、肢体不自由などの古典的発達障害、第2グループ自閉症症候群、第3グループ軽度発達障害、第4グループ被虐体験に基づく障害、以上4グループに分かれ、それぞれ障害に合わせ対応が必要である説明をしていただきました。続いて3グループに分かれ、①生徒の多様性について②保護司と対象者とのかわりについて、



更生保護女性会だより

〔平成31年度・令和元年度 戸塚区更生保護女性会活動報告〕

話し合われました。現在、中学生の対象者は存在していないが、前記発達障害の生徒への対応や、SNSを使ったイジメなどの実態についても話し合いが行われました。

- 毎月第3木曜日 定例役員会・理事会 (フレンズ戸塚) [役員7名・理事17名]
- 4月19日 社会貢献活動 みなとみらい地区清掃 [2名参加]
- 6月21日 日帰り親睦旅行 茨城フラワーパーク [37名参加]
- 9月9日 保護司会と日帰り研修 八街少年院 (台風の影響で中止)
- 9月18日 関東更生女研修会 埼玉県 ホテルフリアンテ武蔵野 [1名参加]
- 9月19日 バザー反省会 まこと寮訪問 支援金・物品持参 [3名訪問]
- 11月2・3日 横浜矯正展・市更女バザー 横浜刑務所前 [1名参加]

- 令和2年1月23日 新年会 きじまおもてなし館 [36名出席]
- 3月 愛のしおり製作・配布 各地区中学校
- 年間 子育て支援ミニ集会 各地区



誌面の都合で活動報告の一部を抜粋しました。